

ジエタノールアミンの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和50年6月23日～昭和50年7月15日
2. 試料名 ジエタノールアミン (試料№K-71)
- 分子式 $C_4H_{11}O_2N$
- 構造式 $\begin{array}{l} \text{HOCH}_2\text{CH}_2 \\ \text{HOCH}_2\text{CH}_2 \end{array} \text{NH}$

3. 試験方法及び条件

環保業第5号
薬発第615号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による
49基局第392号

試験期間 3週間

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

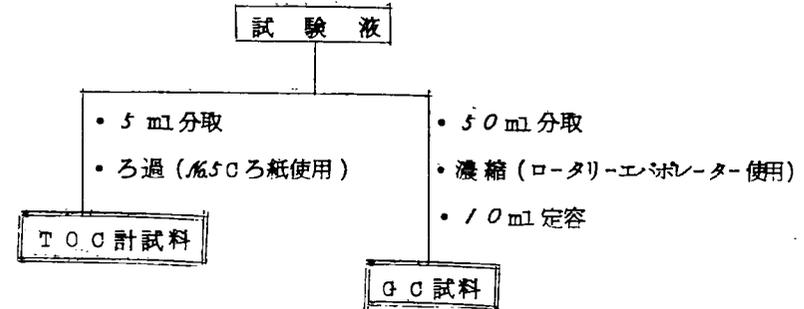
(a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(以下余白、次頁に続く)

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

全有機炭素分析計 (TOC計)

流速 TC回路 200 ml/min

温度 TC炉 840℃

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス N_2

充てん剤 20% OV-17 (KOH処理) / クロモソルブ W

ガラスカラム 2 mmφ / 1 m

カラム温度 100℃

4. 試験結果

	分解度 (%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	51.4	1	—
TOC計による結果	96.7	2	1
GCによる結果	100	3	2

5. その他

クローメーターから汚泥系の一方が13日から立ち上りかけたので試験期間を3週間に延長した。

以 上